

# 淡路市に引っ越してきました

2

## 無農薬栽培にこだわって

大村 太一さん（長沢在住）



タマネギ畑で収穫する大村さん

※栽培した植物を収穫せず、そのまま耕して土にすきこんで肥料とする。例えば、春の田んぼに咲くレンゲは緑肥として栽培されている。

淡路市に来てから、もうすぐ10年になります。

出身は西宮市で、平成23年、災害復旧工事の臨時職員に応募し、淡路島に住むことになりました。

島内をまわっているうちに、農業をやってみたいと思い、北淡路農業改良普及センターの紹介でイチジク栽培をされている日さんの畑で、栽培技術を学びました。無農薬栽培をやってみたくて、農地を借りてイチジクを植えました。最初は、害虫にやられて、木が枯れてしまいました。無農薬でも収穫でき、害虫の少ない冬季に育成する「タマネギ」に目をつけ、早生から晩生まで徐々に増やして、今では7反を作付けしています。タマネギの収穫後は、無農薬で米を4反作っています。

関東を中心に、無農薬の野菜や米を求める顧客は多く、人づてに仲買業者を通じて注文がありますが、緑肥(※)のみの肥料で育てるので、収穫量が伸びず、注文量を供給できない状態です。

去年は家族も増え、淡路市で農業を続けていこうと思っています。

## 目が見えない人への支援を考える

石屋小4年31人

### 点字の名刺カード作成 盲導犬歩行を見学

1月18日、石屋小4年児童31人が、作成した点字の名刺をわたしたり、盲導犬の役割について学習しました。

神戸市から講師を迎え、スマートフォン機能を使って、本を読んだり、ICタグに保存した情報を活用したり、点字以外の耳からの情報が増え、暮らしやすくなったと説明されました。児童たちは、「目が見えない方は、もうどう犬やスマホを使ったら、普通にくらせるんだな。」「まわりの音や声が大切なんだな。」と話していました。



点字の名刺カードを指導者にわたす児童



校舎前を盲導犬と一緒に歩く様子を見学する児童

2020 人権標語  
第2部(小学生高学年)佳作

人と人 しんらいできる 仲間たち

石屋小学校4年  
西尾 結愛

2020 人権標語  
第3部(中学校)佳作

変わってる? 変わってないよ 個性だよ

津名中学校2年  
遠田 昊生

2020 人権標語  
第3部(中学校)佳作

陰口は 聞こえてなくても 見えている

東浦中学校2年  
川田 淳行